

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第169号 2018年6月15日 だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** トンボ情報 ***



←コシアキトンボ♂ (オス)

全身がまっ黒で腹部の一部にあざやかな黄白色帯があるのが特徴で名前のコシアキ(腰明)は腰の白い部分が空いているように見える、または白くて明るく見えるところから名づけられたとも言われています。成熟した♂は、水ぎわになわばりを作り、他の♂がそこにまぎれこむと激しくあとを追います。(全長4～4.5cm)

クロスジギンヤンマ♀(メス)の産卵→

♂♀ともに胸の側面に黒いすじがあることにより、他のヤンマと区別することができます。ふだんは飛び回っていて写真を撮るのはむずかしいのですが、産卵のときばかりは水面の水草の上にじっと止まっています。クロスジギンヤンマの♀は単独で池を訪れ、産卵します。卵を産む様子が力強く見えました。(全長6.5cm前後)



キイトンボ



ショウジョウトンボ



チョウトンボ

5月後半になるとベッコウトンボやヨツボシトンボの姿はほとんど見かけなくなりましたが、イトトンボの仲間やショウジョウトンボ、チョウトンボなどが見られるようになりました。種類によって生活する場所も違うようです。探してみてくださいね。

* 観察路を歩くと・・・



トキワツユクサ

沼北側の[6]から[5]の案内標識ひょうしきにかけて歩くと、観察路かんさつろ沿いに白色のツユクサが群生ぐんせいしています。

昔から道ばたで見かける青色のツユクサは在来種ですが、この白い花はトキワツユクサ（別名：ノハカタカラクサ）で、南アメリカ原産の外来種です。昭和の初期に観葉植物ざいらいしゆとして広く栽培されたものが帰化してしまっただけで、かわいい花なのですが…トキワという名のとおり常緑で、冬でも葉が茂しげって地面をおおってしまうため、他の植物の冬芽に日が当たらなくなり、成長を妨さまたげてしまうのが困ったところですよ。



キショウブ

沼べりや池で多く目にするキショウブも、明治時代にヨーロッパから観賞用かんしょうようとして輸入ゆにゆうされた外来種です。丈夫な植物なので、一度生えてしまうとどんどん増えてもともと生えていた在来のカキツバタなどアヤメ属の植物や農作物の成長を妨さまたげたり、在来の植物と交雑してしまふことなどが心配されています。

また、オオフサモ（南アメリカ原産）は水を浄化させる作用があるとして水槽やビオトープに植えられてきましたが、繁殖力はんしよくりよくが強く在来の水草への影響えいきようや水路などで大繁茂した場合、水流を妨げて水質を悪化させるなどの悪影響があります。このため、オオフサモやキショウブなどは「日本の侵略的外来種ワースト100」に選ばれています。私たちも知らないうちに外来の生物を持ち込んだり捨てたりして拡げてしまわないよう、気をつけたいですね。

自然とのふれ合いを

※参加は無料です
申し込みはビジターセンターへ

魚類観察会

- * 日程 7月22日(日) 10:00~12:00 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンターと野外
- * 内容 野外に出て、桶ヶ谷川にすむ魚類を採取・観察します。
- * 服装 汚れてもよい野外活動ができる服装
- * 持ち物 帽子・水筒・長靴・メモ用紙など

夏のトンボ観察会

- * 日程 7月29日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼周辺
- * 内容 ショウジョウトンボやキイトンボなど、色あざやかな夏のトンボを観察します。
- * 服装 野外活動ができる服装 (できれば長袖、長ズボン)
- * 持ち物 帽子・水筒・メモ用紙など



※ いずれの行事も、対象は一般（小学生以下は保護者同伴）です。